

安全データシート (SDS)

整理番号 KM-015B
作成 2011年 4月26日
改訂 2014年12月 5日

1. 製品及び会社情報

製品の名称	キミカアルギン NH
製品コード	015
会社名	株式会社キミカ
住所	東京都中央区八重洲二丁目4番1号
電話番号	03-3548-1941 (本社)
Fax番号	03-3548-1942
電子メールアドレス	tokyo-office@kimica.jp
緊急連絡電話番号	0439-87-1131 (千葉プラント)
推奨用途及び使用上の制限	食品等の添加物(増粘、安定、ゲル化) 各種バインダー、フィルム形成剤、表面処理剤、凝集剤等

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	該当しない
健康に対する有害性	該当しない
環境に対する有害性	該当しない

ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	アルギン酸アンモニウム
別名	なし
CAS No.	9005-34-9
官報公示整理番号(化審法)	なし
官報公示整理番号(安衛法)	11-(4)-494
E No.	E403
EINECS No.	なし
TSCA登録	あり

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。激しく咳き込んだり、呼吸困難な状態のときは酸素吸入を行いながら、直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	清浄な水でよく洗う。違和感が残る場合は、医師の診断を受ける。
目に入った場合	清浄な水でよく洗う。違和感が残る場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	清浄な水でうがいをする。多量の場合、コップ2杯程度の水を与えた後吐き出させ、医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	データなし
応急措置をする者の保護	「8. ばく露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	特になし
その他	汚れた衣服は取り替える。

5. 火災時の措置

消火剤	水、泡または粉末消火器等を用いて消火する。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	なし
特有の消火方法	燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。高圧水によって製品を飛散させないように注意する。汚染された消火排水は処理なしに河川へ流さない。
消火を行う者の保護	耐火服、手袋、マスクを着用する。飛散した粉塵や燃焼して分解したガスなどを吸引しないよう風上に立ち、低位の場所から避難する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	ばく露しないよう十分な換気のもと保護具を着用して行う。
環境に対する注意事項	本品が排水路に排出されないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉塵の飛散に注意しながらほうきで掃き取るか、掃除機などで吸い集めて回収する。本品は吸水すると膨潤し粘滑性を帯びるので、床などで吸水したものは多量の水で洗い流してきれいに除去する。本品は中性の物質のため、中和は必要ない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	換気の良い場所で取り扱う。 「8. ばく露防止及び保護措置」の項に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	容器(クラフト袋+ポリ袋)を傷めないよう、丁寧に扱う。 水濡れや乱暴な取扱いを避け、粉末を飛散させないようにする。 皮膚、眼および衣類との接触、飲み込みを避ける。
接触回避	水、湿気、高温体との接触を避ける。
衛生対策	本品を扱う際は、保護具を着用し、異物混入に注意する。

保管

技術的対策	保管場所は製品が汚染されないよう清潔にする。
混触禁止物質	なし
保管条件	冷暗所にて湿気を避け、密閉保管する。
容器包装材料	クラフト袋+ポリ袋

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定なし
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定なし
ACGIH	設定なし
設備対策	集塵機などにより微粉末の飛散を防止する。
保護具	
呼吸用保護具	防塵マスク
手の保護具	耐薬性のある保護手袋
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の一部の保護具	耐薬性のある保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)	白～淡黄褐色の繊維状粉末
臭い	わずかに特異なおいがある
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	6.0～8.0(1%水溶液)
融点・凝固点	なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	なし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、気体)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度	水に易溶、有機溶媒に不溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の取扱い条件下(屋内、常温)においては安定
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	高温下での保管
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	なし

1 1. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	復帰突然変異試験において陰性。
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	環境中の微生物により容易に分解される。
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却処理するか、または産業廃棄物処理業免許を持つ処理業者に 依託して処理する。 国内および使用地域の法令に従って適切に処理すること。
汚染容器及び包装	焼却処理するか、または産業廃棄物処理業免許を持つ処理業者に 依託して処理する。 国内および使用地域の法令に従って適切に処理すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名(国連輸送名)	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
国内規制	
陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
特別安全対策	直射日光を避け、紙袋の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷 崩れの防止を確実に行う。 その他「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照のこと。

15. 適用法令

(1) 化学物質排出把握管理促進法	該当しない
(2) 労働安全衛生法	該当しない
(3) 毒物及び劇物取締法	該当しない
(4) 火薬類取締法	該当しない
(5) 高压ガス保安法	該当しない
(6) 消防法	該当しない
(7) 化学物質の審査及び製造等の 規制に関する法律(化審法)	該当しない
(8) 船舶安全法	該当しない
(9) 水質汚濁防止法	政令第2号第26号 (アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)
(10) 食品衛生法	食品添加物に関する各条が適用される。

16. その他の情報

記載内容は作成時点で入手できた最善の資料に基づいておりますが、情報の完全性や数値の正確さを保証するものではありません。また、注意事項等は通常的な取り扱いを対象としており、特殊な取り扱いの場合はこれに適した安全対策等を実施してください。

<参考文献>

- ・ 新村壽夫著「食品添加物の生化学と安全性」(地人書館, 1980)
- ・ 食品安全委員会 添加物評価書「アルギン酸及びその塩類」(2006年3月)